

アートが“ま” —地域の活性と新たなコミ

「アート」を手段として地域を活性化しようという試みは各地の活性のきっかけになりうることに多くの注目を集めているので含んだ「デザイン」や「クリエイティビティ」がもたらすま

〈夜間連続講座〉参加費無料 定員 30 名 (多数の場合は抽選)
※申込方法は裏面参照

開催場所 : 名古屋都市センター 11 階ホール

明日のまちづくりへ繋げていくための手段としての「アートプロジェクト」について考えます。

※夜間連続講座の受講者は、「まちづくり講演会」にも参加して下さい。

〈第1回〉2月22日(金) 18:15~20:00
熊倉 純子 「アートプロジェクト・その可能性と課題」

熊倉 純子 東京藝術大学 音楽学部 音楽環境創造科 教授



パリ第十大学、慶應義塾大学卒業。1992年から2002年まで(社)企業メセナ協議会に勤務。企業のメセナ活動や芸術普及プログラムなどの研究・開発に携わる。専門は文化環境論(文化支援)、アートマネジメント。2002年4月より東京芸術大学に新設された音楽環境創造科で社会と芸術を結ぶ人材を養成する。著書に「社会とアートのえんむすび 1996-2000 つなぎ手たちの実践」(共編。ドキュメント2000プロジェクト実行委員会発行、トランスアート)。

〈第2回〉3月13日(水) 18:15~20:15
吉田 有里 「あいちトリエンナーレと長者町の出会い」
吉田 隆之 「長者町で何が起きているのか
—ソーシャルキャピタルによる分析と創造都市的政策への展望—」
熊倉 純子 (コーディネーター)

吉田 有里 あいちトリエンナーレ2013 アシスタントキュレーター



1982年東京生まれ。2008年多摩美術大学大学院美術研究科修了。2005年より芦立さやかと共にYOSHIDATE HOUSE(北仲WHITE/横浜)をオープンし、同世代作家の個展を中心にパーティーなどを多数企画。BankART1929勤務を経て、2009年より現職。あいちトリエンナーレでは、2010年開催に引き続き、繊維卸問屋街の空き店舗やまちなかの空間を使用して展示を行う長者町会場を担当し、会場の調査やキュレーション等を行っている。
www.aichitriennale.jp/

吉田 隆之 愛知県教育委員会/NPO法人稲武未来塾理事/
東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程



1965年10月神戸市生まれ。京都大学法学部卒業。愛知県庁入庁後、へき地校赴任の際、地域活性化を目的としたNPO法人稲武未来塾を生徒の父母らとともに立ち上げる。2009年から2010年まで文化芸術課国際芸術祭推進室で主にあいちトリエンナーレ2010長者町会場を担当。展示場所の確保や長者町との共同企画に奮闘。仕事の傍ら、2009年京都大学公共政策大学院修了。博士論文「都市型芸術祭の経営政策—あいちトリエンナーレを事例に」を執筆。3月に博士号(学術)取得見込。

〈第3回〉3月22日(金) 18:15~20:00
アサダワタル 「バリアのないコミュニティづくりへ」
熊倉 純子 (コーディネーター)

アサダワタル 日常編集家



1979年生まれ。“日常編集家”という名の放浪芸人。音楽、テキスト、思索、プロジェクトを通じて、日常、仕事、分野、コミュニティのあり方を再編集する表現を展開。著書に「住み開き家から始めるコミュニティ」(筑摩書房)、「編集進化論 edit するのは誰か」、「クリエイティブ・コミュニティ・デザイン」(共にフィルムアート社、共著)等。サウンドユニット「SJQ」(HEADZ)のドラムを担当しつつ、過去に「大和川レコード」名義(現在はアサダ名義)での音楽ワークショップやライブも展開中。神戸女学院 CDP、九州大学工学部非常勤講師、NPO法人 cocoroom 副代表理事、ボーダレス・アートミュージアム NO-MA アドバイザー。滋賀大津と神奈川横浜にオフィス事編 kotoami 主宰。
<http://kotoami.org/>



KOSUGE1-16 《かたい山車》2010年
あいちトリエンナーレ2010
撮影:石田亮介



ナウイン・ラワンチャイクン《新生の地》2010年
あいちトリエンナーレ2010
撮影:福永一夫

